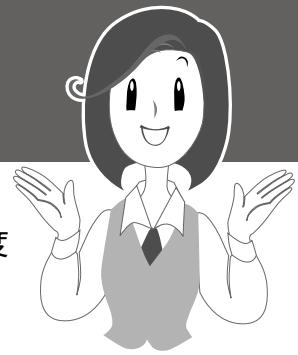


水道事業業務状況公表



平成19年3月31日現在のいの町水道事業の概要、経理状況及び平成19年度予算・事業概要を地方公営企業法に基づいて、次のとおり公表します。

II 平成18年度

事業の概要 II

営業では、18年度末給水件数8,165件で前年度より26件の増となり、水量面では、総配水量401万7,416.³m³に対し、総有収水量300万8,379.³m³で前年度より4万353.³m³（前年度比1.3%）の減となりました。

経理に関しては、水道事業収益総額3億859万4千円で、その主な収益として、給水収益2億7,866万8千円、受取利息及び配当金3万8千円、新設分担金733万円、他会計補助金2,109万5千円に対し、水道事業費用総額は、3億37万9千円で、その主な費用として、職員給与費

修繕費 4,723万1千円
減価償却費 9,913万1千円
動力費 2,542万8千円
委託料 1,709万6千円
で、単年度収支は、821万5千円の純利益となりました。

また、消費税については、課税売上割合99.6%、仮受消費税額1,430万2千円、控除対象額366万3千円で、961万4千円の消費税納付となりました。

今後とも、健全な企業運営を維持するため、経営の効率化を図り、有収率の向上をめざし、住民福祉の向上、生活環境の整備に一層の努力をいたしました。（別表1）

○八田地区配水管布設替工事
仕切弁 φ50 1基
延長 87.9m

II 平成18年度

経理の状況 II

○八田地区配水管布設替工事
仕切弁 φ50 1基
延長 307.3m
消火栓 φ75 3基
14億4,021万2,847円でした。が、簡易水道事業債として公営企業金融公庫より18年度に1,230万円を借り入れ、3月までに、8,074万6,726円を償還しましたので、平成19年3月末企業債未償還残高は、13億7,176万6,121円となりました。

経営状況は、事業概要で示したように当年度純利益821万5千円が計上され、資本的収支の不足額8,394万7千円は、過年度分損益勘定留保資金8,394万7千円で補てんしました。

II 平成18年度

経理の状況 II

平成19年度予算の概要・事業経営方法

【予定業務量】

給水戸数	8,150戸
一日平均給水量	8,352m ³
主たる建設改良事業	1億2,125万円
収益的収支・資本的収支の予算概要（別表2）	平成20年3月31日予定貸借対照表（別表3）

【配水管移設工事等】

○駅前地区配水管延長工事
配水管 φ50



記号説明
φ：管の内径、単位mm